

JARL

香川クラブ報

No. 374 平成22年12月15日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

忘年会の時期がやってきました、お忙しいとは思いますが下記の通り開催致したく御案内申し上げます。

多数のご出席、又久しぶりにお会い出来るのを楽しみにしております。
今回料理セットの為、恐れ入りますが出欠のご返事宜しくお願い申し上げます。

記

日 時 12月25日(土曜日) 19:00より

場 所 「瀬戸内海料理 ぜにや 2F」

高松市瓦町2丁目10-21

TEL: 087-833-0808

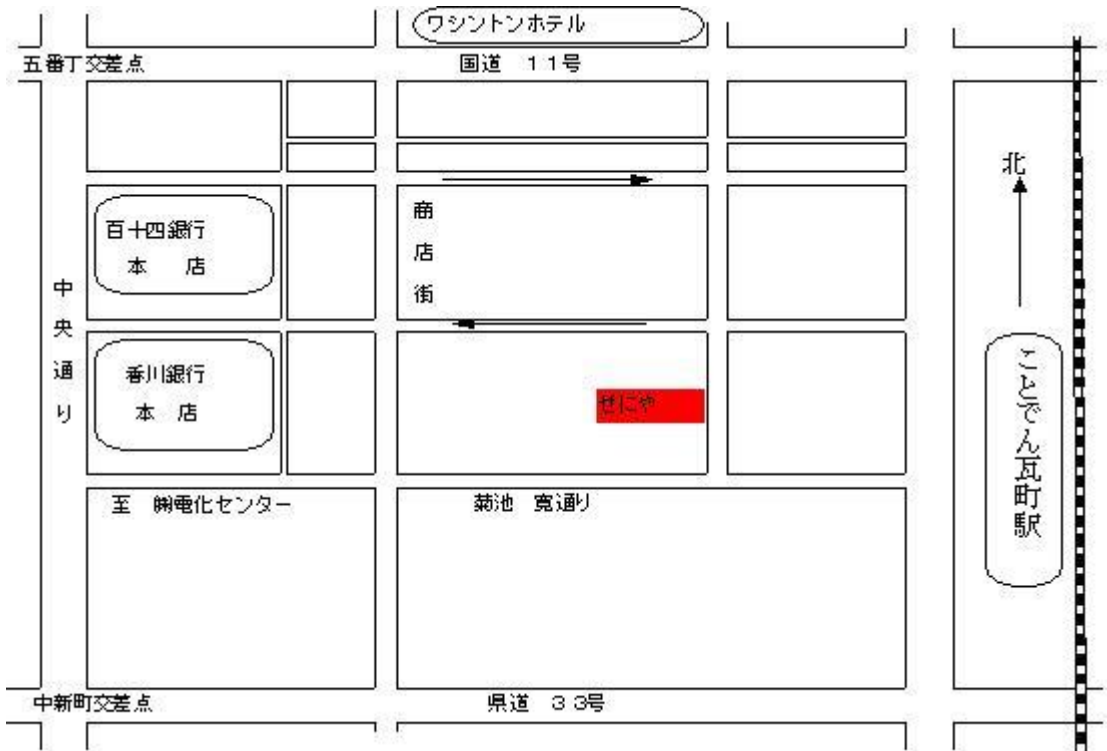
会 費 男性 5,000円

女性 4,000円

申し込み 締切12月20日(月曜日)

連絡先 JH5EZB

JH5PMZ



クラブミーティングの報告

11月11日、成合町「不二の屋」でクラブミーティングが開催されました。
三好会長から10月10日に行われた高松市震災対策総合訓練に参加をされたクラブ員に感謝の意が述べられました。

また、高松市市制施行120周年・高松趣味協会設立30周年の行事に沿った記念局「8J5TA」の運用状況、10月1日から11月11日現在で交信局数が3,575に達している報告があり、11月30日の最終日迄には5,000局に達する勢いです。

天野名誉会長からは毎年開催されている高松市のロビー展（10月18日～21日）と亀阜コミュニティー文化祭（11月23日～24日）に香川クラブの活動を展示する旨の報告がありました。

今回は天野名誉会長お一人で準備から展示設営撤去までをして頂きました。

三木副会長から10月10日の防災訓練に少人数で参加をしてFBに活動をしてきましたとの報告がありました。

来年度は松島地区での開催が決定しており、時間の取れる方は是非ともご参加をされ、身をもって防災体験し防災意識を高めてください。

（次ページに参加レポートを掲載しております）

- ・2011年には全日本ARDF競技大会が香川県で開催されます。

地方ARDF大会では香川クラブの有志が中心となり参加者のお世話をしてきましたが、全日本ARDF大会ともなると参加者150余名になり、選手の宿泊や移動そして競技運営のお世話をするスタッフも50名くらい必要になるかと思います。大会を成功させるにはクラブ員のお力をお借りしなければなりません。

世話役依頼があれば快くお引き受けして頂けるようお願い申し上げます。

- ・JARLの法人改革はどんなものかとの意見がありましたので、巻末ページにJARLのHPから記事を抜粋して掲載しています。詳しくはJARLのHPをお読みください。

各報告の後、下記議案にて討議が行われました。

記

1. 8J5TAの移動運用

先般、女木島か男木島に移動運用を計画しておりましたが、瀬戸内芸術祭際が終わり、島の民宿もあまり泊まり客を受け入れておらず、日帰り運用では無線機材を設営する時間や船の便数を考えあわすと時間的に移動運用は無理と判断をし、今回は中止することになりました。

記念局開催はのちにも巡る会える機会があり、そのときに移動運用を計画しようとの結論になりました。ご期待をして頂いた方には申し訳なく思っております。

2. 香川マラソンコンテストに香川クラブとして参加をする事になりました。運用は下記の日程で行いますので、聞こえていましたらお声がけをしてください。

香川マラソンコンテスト運用者

日	1・2	3	4	5	6・7	8	9・10・11 12	13・14・15
運用者	J15XTP	JG50BX	JA5IJL	JA5AHM	JA5TFJ	JH5PMZ	JH5EZB	JH5LYW

*交替は当日の02:00

3. 2010年 忘年会

12月25日（土） 19:00～ （詳細別掲参照）

<参加者>JA5AHM・JA5IJL・JA5TFJ・JA5UVT・JH5EZB・JH5LYW・JH5PMZ・JG5PBO・J15XTP

平成22年度高松市震災対策総合訓練

J H 5 E Z B

10月10日(日曜日)、平成22年度高松市震災対策総合訓練が私の地元である高松市香西北町芝山マリナランド仮設グラウンドにて行われました。

今年は例年より30分早い午前8時30分に地震発生を想定しての訓練開始、地元サイレンを合図に各自治会ではまずそれぞれの避難場所へ集合し後訓練参加のため会場へ。

訓練会場では大西高松市長の命令にて災害対策本部の設置、高松消防局の訓練通信が開始されました。

今回は特に地域住民に防災を理解してもらう為に、又一人でも多く参加して訓練体験をしてもらう為に、県の防災ヘリコプター、海上保安部の巡視艇などに訓練参加して頂き、空、海上から防災広報をかねて行いました。

私達は会場内で訓練通信内容をアナウンスする為、周波数の確保、無線機の微調整等を行い緊張しながらそれぞれの持ち場にて待機しました。

午前8時45分頃に「訓練N03番目、ただ今よりJ A R L香川クラブによる被害情報収集を行います」の高松市有線本部のアナウンスが始まり、アマチュア無線の説明後にJ H 5 P M Z (多田OM)局より対策本部J A 5 C B F (天野X Y L)局宛に訓練被害情報の第一声が入りました。



約2分間位J H 5 P M Z局の被害情報の訓練通信が行われ、続いてわざわざ訓練会場から香西本町に移動しているJ E 5 P B O (岡田OM)局より訓練被害情報が入り同じく約2分位の訓練通信運用が行われました。



近隣のアマチュア局の協力もありまして周波数確保も無事でき、J A 5 C B F（天野名誉会長奥様）局の非常アマチュア無線運用説明を場内アナウンスで締めて頂き、約5分間の香川クラブでの訓練通信運用仕事は終わり、各局もホッとした顔になりました。

各局も訓練通信が終わり他の訓練の見学、写真撮影と会場内を適当に移動し11時30分の閉会式まで過ごしました。

今回も高松市震災対策総合訓練通信運用は大変ご多忙の中に多数の参加者があり香川クラブ対策本部にもぎやかに無事訓練参加ができホッと致しました。

非難では有りませんが、高松市役所での震災対策総合訓練会議では香西消防団の副団長が「香西小学校、勝賀中学校の子供達のバケツリレー等での消火活動は危険です」と市危機管理課に声を高らかにしましたが、私が「今回の震災訓練はあくまで訓練で有事ではなく火は使わず発煙筒ですよ」と言い「何事も経験させたら良いのでは」と参加拒否を反対しました。

人生の思い出と勉強になるのにね！

今回高松市震災対策総合訓練に参加し色々な訓練見学をし参加体験をして特に感じた事は、現在高松市は大きな災害ではなく平和な町です。

昔瀬戸大橋の開通記念ウォークで無線連絡のため参加しましたが、感心したのは岡山県支部が与島のインターにコンテナ2台を設置しての無線設備のすごさでした。

さすがに岡山は町が大きく山が深い為に雨雪等の災害が多く非常通信にかなり力を入れているのだな～と思い感心致しました。

次回の訓練は高松市松島町で開催される予定です、お忙しいとは思いますが時間を取り参加してみて下さい、本当に色々勉強になりますよ。

訓練が終わり近くの喫茶店で少時間のお茶タイムを楽しんで解散致しました。

訓練参加の皆様方大変お疲れ様でした、又有り難う御座いました。



参加局

J A 5 A H M J A 5 C B F J A 5 N R C J A 5 X U E J H 5 P M Z
J E 5 P B O J H 5 E Z B 以上の各局でした。

ARDF 競技大会に参加をしてきました

2010年全日本ARDF競技大会が10月23日・24日に長野県で開催されました。選手とは別に来年度香川県で開催される全日本ARDF競技大会の運営下見を兼ねて、JA5MG、JA5TFJ、JA5TOP、JJ5CAE各局が会場を訪れ熱心に運営方法を勉強していました。個人ではJH5LYW三好会長が両部門とも2位の成績で来年度のオーストラリアで開催されるIARU ARDF Region 3選手権大会の切符を手に入れました。(渡航費用は自己負担とか?)

2010全日本ARDF競技大会 (長野県諏訪郡富士見町)

<3.5MHz 部門 (エキシビション)> 10月23日(土)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	集合場所から富士山を展望できました。 ゴールが高台で、最後はへばりました。
M21	6位	JF5MED	1時間32分39秒	5個	
M50	2位	JH5LYW	1時間01分31秒	4個	
M60	5位	JA5UVT	1時間22分19秒	3個	

<144MHz 部門> 10月24日(日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	競技エリアは樹木が立ち並ぶ森林だが360度、どの方向にも移動ができる。ただ目標物が無くTX信号とコンパスだけを頼りに移動しなければならず、一つ間違えば一生さまよい続けるかもしれません。
M21	13位	JF5MED	1時間54分39秒	4個	
	6位	JG5OBX	1時間42分16秒	3個	
M50	2位	JH5LYW	1時間12分39秒	4個	
	8位	JG5WTP	1時間27分23秒	3個	
M60	8位	JA5UVT	1時間42分57秒	2個	
	11位	JJ5XTP	1時間57分41秒	2個	

第21回広島県ARDF競技大会 (広島県東広島市)

<144MHz 部門> 11月7日(日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	第2TXと第3TXがダブって送信され、それぞれ受信できるのは10秒あまり。 各局かなり苦労しました。中には、間違っ必要のないTXをゲットする人も。
M21	2位	JF5MED	1時間29分56秒	5個	
	4位	JG5OBX	1時間36分02秒	3個	
M50	2位	JH5LYW	1時間21分07秒	4(5)個	
	4位	JG5WTP	1時間18分29秒	3(4)個	
M60	1位	JA5UVT	1時間00分08秒	3個	

第17回北四国ARDF競技大会 (香川県東かがわ市)

<144MHz 部門> 11月14日(日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	近年になく56名と参加者の多い競技大会でした。M50以上が25名とARDF競技にも高齢者の波が押し寄せております。若人集まれ!
W21	3位	JG5TJJ	1時間11分29秒	2個	
M50	1位	JH5LYW	1時間33分36秒	5個	
M60	1位	JA5UVT	59分12秒	3個	
	2位	JJ5XTP	1時間38分02秒	3個(4)	

スタッフ: JA5IJL/JA5TFJ/JH5PMZ/JR5IKV/JF5MED/JG5OBX/JG5WTP/JJ5CAE

信州長野の思い出

J H 5 L Y W

ここ10年余り、全日本ARDFを兼ねて旅行するのが私の年中行事の一つになっている。

今年は、長野県の八ヶ岳麓「富士見町」において全日本ARDF競技大会が開催された。8月に申込が始まると、参加しそうな各局と参加競技や行程、観光先など綿密？な打合せ。先発隊として、3.5、144両部門へ参加するJA5UVT詫間OM、JF5MED山田OMと私、そして今回の旅の監視役としてJJ5CAE詫間さんの4名

後発隊は、144MHz部門に参加するJG5OBX丸山OM、JG5WTP滝井OM、JI5XTP坂内OMその他3名の総勢10名が参加することになった。

高速道路無料化はいつのことやら、少しでも安上がりにと言うことで夜間割引を利用して車で参加することになった。

以前、福島や新潟で開催された全日本大会に車で参加しているので、長野なんか近い近いと各局鼻息が荒い。

21日(木)20時30分に我が家に集合して、22時に高松中央ICを出発と決めていたのに山田OMの姿が見えない。

急ぐ旅でもないからと構えていたが、時間が立つにつれ何かあったのかと不安が募る。仕方なく、電話してみると「お腹の具合が悪く、もう少し待って」とのことで、結局出発できたのは日が変わる頃だった。

後は、事故も渋滞もなく順調に走り、JJ5CAE詫間さんの希望で富士山麓の朝霧高原にある「富士花鳥園」に到着した。

車から降りると、とにかく寒い。各局とも慌てて上着を羽織、道の駅で朝食。

目の前に迫る富士山をバックに記念撮影をして、早々に「富士花鳥園」に入った。

ここは、2006年に富士山麓で開催された全日本大会の時、その存在を知らずにたまたま入って大感激したところ。広い温室の中にはいろいろなベゴニアの花で彩られ、またこれもいろいろな種類のフクロウが出迎えてくれる。



大型鳥のエミューや人懐こいロリキートランディングなどのインコ類、白鳥に黒鳥。時間によればフクロウや鷹のショーがあり、一日居ても飽きない。

実は、あまりにも「良かった、良かった」と言ったものだから、昨年7月他の用事もありXYLにせがまれて来園しており、今回で3度目だったのだが何回来ても時間を忘れさせてくれる。

ちなみに、詫間さん夫妻は2度目、山田さんは初めてとのことだった。

次の予定もあるので、後ろ髪を引かれる思いで「富士花鳥園」を後にした。

次の観光地は山田OMお勧めで、サントリー白州蒸留所の見学。

何とか、所内案内ツアーに間に合い、FBなYLさんがガイドでウイスキーの製造過程

や歴史など説明してくれた。
ツアーの最後は試飲タイム。



30分もあるというのでのん気に構えてアンケートを書いていたら、ものの15分ぐらいで追い出された。詐欺だと叫ぶ訳にもいかず、しぶしぶ会場を後にした。

東日本の日暮れは早い。急いで今夜の宿泊予定の「山路ペンション」に向かった。

このペンションは以前、山田OMが宿泊して良かったと言う事で決定したのだが、聞いてみるとご主人は私の家の近所が実家で、弟と同級生とか。話しているうちに、我が家にも来た

ことがあるそうである。

食事までの時間を温泉にということで、近くにある天然温泉「ゆうとろん」に浸かることにした。

宿のご主人も交え、夜遅くまで盛り上がった。

目が覚め、食事までの間少し散歩に出かけたが思ったより寒い。

昼前に、大会会場に着いて受付を済ませ、全日本大会でしか会えない各局とあいさつ。「8 N O A R D F」の記念局を捕まえてQ S Oしたり、遠く富士山を眺めたりして時間を過ごした。

いよいよ、3.5MHz帯の競技開始。

スタートしたらいつもの気負いからか、なかなかT Xの場所を特定できない。

これでは、いつもと同じになってしまう。

「ええい、ままよ」と一番強い第1TXを目指して道路も無視して一直線に突き進んだ。

幸い、大した敷はなく何とかゲットすることができた。

後は、多少ブレながらも所定の4個を全てゲットし、ゴールへ向かう。

競技エリアより一段高い場所にゴールが設定されており、最後はへばった。

結果はM50クラス第2位。過去にも2位や3位はあったし、所詮はエキシビション。

競技も終わり、そうこうしていると後発の6名と合流。

また、来年の全日本大会の下見に来られたJA5MG稲毛本部長、JA5TFJ横田OM、JA5TOP平賀OMの他、支部長他など5名とも合流した。

後発の6名と我ら4名で、昨夜と同じ「山路ペンション」へ移動。

「ゆうとろん」で汗を流し酒宴に移り、わいわいと話題は尽きない。

早朝、ペンションのご主人と「実家に寄る際はぜひ家にも寄るように、機会があればまたペンションにお邪魔します」と約束して別れ



をつけ、会場に移動した。

いよいよ、全日本ARDF競技大会の開始。

何とスタート地点はエキシビションと同じ位置。競技エリアはさすがに違っていたが2日目ともなるとおぼろげながら地形のイメージも浮かぶ。

さすがに144MHz帯は反射波に悩まされる。とにかく電波を目指して走る走る。



今回の大会に使用されたアンテナは「ヘイローアンテナ」なるもの。

たくさんの参加者が走り回っていると思われるのに、あまり選手に出会わない。

ときどき、キノコ採りの人達があり惑わされる。

4個のTXを全てゲットしゴールを目指す、ここで大チョンボ。

何を思ったかゴール脇を行き過ぎ、また引き返す羽目に。

トップと2分差、またしても2位に甘んじた。

ゴールにミスしなければと思っても後の祭り。まあこれが私の実力なんでしょう。

しかし、本大会での入賞は初めて。自分を褒めてやるか。

大会も無事終了し、本部長らとも別れを告げ諏訪湖畔にある「すわ湖苑」に入った。

温泉で汗と疲れを取り、食事まで時間があるからと買出しに出かけることにした。

フロントで観光地や飲食街などいろいろな情報を仕入れていると「ビー

ル買いに行くんやろ。僕も行くわ」と大声でメンバーの1人。穴があったら入りそうな心境でフロントから離れた。

そっと、ホテルを抜け出しアルコール類やつまみ類を仕入れて部屋に戻った。

豪華な夕食に、ほとんどの人が食べ残し。

残り物を無理を言って詰めてもらい部屋に戻って2次会を楽しんだ。

最終日は朝から雨。

帰りも高速道路夜間料金を利用しようとしていたので手持ち無沙汰。



とりあえず、諏訪湖畔にある間欠泉を見学しようと出発。

ところが現地に着くと雨が上がった。
時間まで「タケヤ味噌」や周辺を散策。
人工的に調整されているとは言え、み
ごとな間欠泉を見学できたが車に乗り
込む頃また雨が。

次に訪れたのは「この付近は造り酒
屋が有名」という山田OMの勧めで、全国
的に有名な宮坂酒造に立ち寄った。
入口が変わっているなどと思ったら、「数
日前にダンプカーが飛び込んだ」との
こと。
ここでも車を降りる頃には雨が上がり、



お土産の「真澄」も買った。

最後に諏訪大社(上社)を訪ねた。
ここでもまたまた雨は止み、われわれ
を快く出迎えてくれた。
見事な社や御柱を見学し、門前のお店
で昼食をとった後、車に乗るとまた雨
が。

よほど各局のおこないが良いのだろう
と感心しながら、4日間の信州長野路を
後にして一路帰路に着くことにした。

時間はたっぷりあるので、いろいろな
SAで休憩しながら家にたどり着いた
のは日が変わっていた。

毎回のことながら、画像や文章では描
ききれない楽しい思い出が胸にしまわ
れ、臉に焼きついた。

来年の全日本は残念ながら地元開催。
選手として参加することができず、旅も
楽しめないが良い記憶が残るよう精一
杯取り組みたいと思っている。

クラブ員各局、どうぞよろしくお願いいたします。



公益法人改革とは

公益法人制度の抜本的改革は、平成14年3月の「公益法人制度の抜本的改革に向けた取組みについて」の閣議決定によってスタートし、平成16年12月の閣議決定により「公益法人制度改革の基本的枠組み」が具体化され、

① 公益法人設立時の許可主義を改め、法人格の取得と公益性の判断を分離して、準則主義（登記）により簡便に設立できる非営利法人制度を創設する。

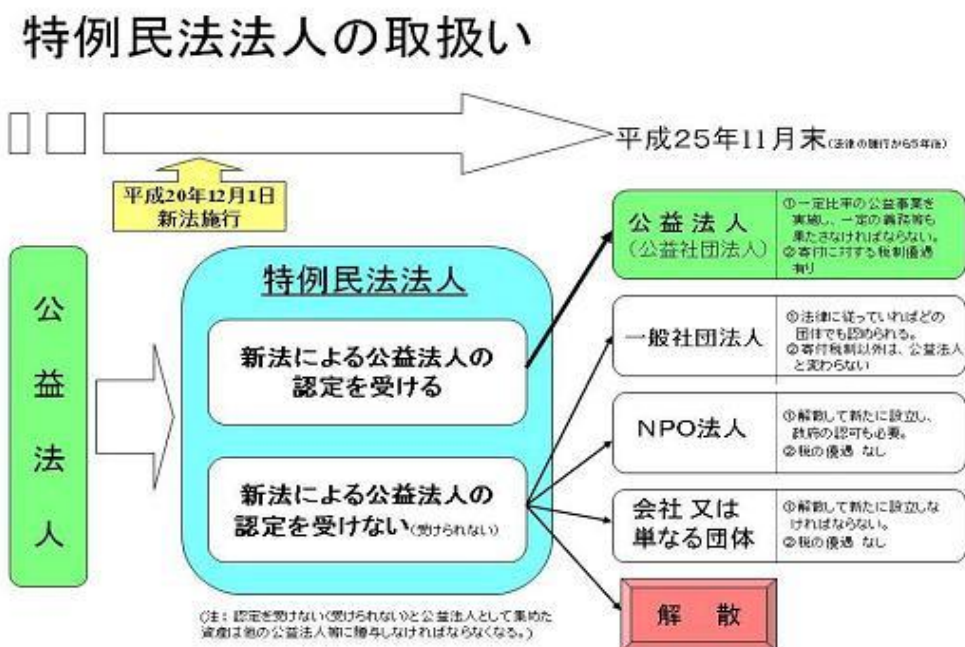
② 公益法人の主務官庁制を廃止し、有識者による委員会の判断で非営利法人の目的、事業等の公益性を判断する仕組みを創設する。

とすることとなりました。

この基本的枠組みに基づいて内閣府で「公益法人制度改革に関する有識者会議」などを開催して検討した結果により、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」など公益法人改革に関する3つの法律が、平成18年5月26日に成立し平成20年12月1日から施行されました。

法律施行後の5年間は「移行期間」とし、その間は「特例民法法人」との呼称となり、現在のすべての公益法人は、この移行期間内に必要な手続きをとって、移行期間満了日である平成25年11月30日までの間に新制度に沿って「公益法人の認定を受ける」、「一般社団法人に移行する」などの措置をとらなければなりません。

その概要は、次の図のとおりです。



平成18年頃の各種講演会での説明や公益法人改革に関する記事によれば、既に設立されている法人は公益法人化を目指すのが当然であり、簡単に公益法人に移行できると言われておりましたので、JARLも他団体と同様に当初は公益法人化に向けての検討を進めてきました。

しかし、平成19年末に発表された税制改正を見れば、寄付が多い団体では税制上の優遇措置が受けられますが、JARLのような会員からの会費中心の団体ではそのようなメリ

ットがなく、その他の税制面では公益法人も一般社団法人も殆ど差がないことが判明してきました。もし、公益法人になれば、公益的な事業を行っている団体であるとの看板を掲げることができますものの、公益認定等委員会の監督下に置かれて、事業支出の50%以上を継続して公益事業に支出して、毎年、所定の様式による事業報告、決算報告をし続けなければなりませんし、場合によっては、認定等委員会の立ち入り検査も受けなければなりません。また、平成20年始め頃から示された公益法人改革三法の政令や省令の内容や内閣府の公益認定等委員会の各種資料を見てもと公益法人になるには当初の予想を遥かに超えた申請書類や膨大な添付資料が必要であることが分かってきて、公益法人になることは容易ではないことが判明しました。

申請書類の多くは、厳格な経理状況に関する資料ですが、一説では、公認会計士に申請書類作成を依頼すれば多額の費用がかかるであろうと言われています。

各報告の後、下記議案にて討議が行われました。このような動きを受けて改めて公益法人を目指すか、それとも一般社団法人を目指すかを、近年の公益法人改革を巡る動きや最近の情報によるメリット、デメリットを対比して、改めて検討をし直した結果、平成21年9月26日・27日に開催された第512回理事会で「一般社団法人」となることを選択することを決定し、平成21年11月29日に開催された第115回評議員会で了承されました。と報告されています。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成22年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

JARL 香川クラブ報			
発行責任者	JH5LYW	三 好	伸 幸
編 集 者	JA5TFJ	横 田	寿 夫
	JH5WMN	山 口	博 司
	JI5XTP	坂 内	信 洋